

①介護サービス基盤の整備については、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症対応型グループホームや小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービス施設の整備を引き続き図っていきま

②各教科で知識を高めることだけでなく、幼い頃から本市が持つ豊かな自然や歴史、文化に触れ、郷土愛を育むことは大切と

③蒲生医療センターに建設中のがん診療棟については、8月から一部診療を開始し、本格的な稼働は10月からとなります。この施設整備の目的の一つとして、東近江医療圏域のがん治療の完結率向上があります。現在、急性心筋梗塞、脳卒中、成人肺



黒丸PAと周辺の工業団地

がん治療完結率の目標値は

①近江鉄道の新たな運行形態への移行を見据えた利用促進に対する考えは。

②(仮称)黒丸スマートIC周辺の土地利用のビジョンは。

①昨年の法定協議会で近江鉄道の全線存続が決定し、令和6年度から新たな運行形態である上下分離方式に移行することになります。さらに利用促進を図るために聖徳太子(しょうとくたい)1400年のイベントに併せて、「近江鉄道乗車キャンペーン」などを実施し、本市の商業や観光の振興が図れるよう検討をしているところでです。



まもなく完成するがん診療棟

④高等専門学校が本市で開学されれば、地域の雇用対策や地方創生に大きくつながることから、市内企業の支援もいただきながら、本市への誘致に向けて努力していきます。



太陽クラブ



戸嶋 幸司



人口減少社会を見据えて

日本の総人口が減少している中で、本市の人口動向をどう捉え、どのような施策を講じるべきと考えるか。

コロナによる人口への影響は、今後分析する必要があるが、若い世代の転出超過、特に県内他市町への転出については引き留めることができる

また、大学などへの進学により転出された方に対しては、卒業後、本市で働いてもらえるように多様な職種の企業誘致や創業支援の強化などが必要であると

さらに、結婚から出産・妊娠・子育てについて切れ目のな

い支援を行い、子どもを生み育てやすい環境づくりに引き続き取り組むことで、若い世代が本市で働き住み続けてもらえるようなまちを目指したいと考えて

本市の総人口が減少を続ける一方で、外国籍を持つ市民の数は増え続け、県内では大津市に次ぐ3981人の方が生活

今後も人口減少が想定される中で、外国人労働者は貴重な戦

本市で生活される外国人の皆さんを温かく迎え入れ、安心して生活してほしいと考えて

地域社会の中で共に生活をす

東近江市の人口推移

Table with 6 columns: Year, Total Population, Japanese, Foreigners, and their respective year-over-year changes.

に、まちの情報や魅力などを伝えることができるよう情報伝達などに工夫しながら、第二のふるさととして愛着を感じ定着していただけるよう努めていき

効果的な情報収集を

スマートフォンやタブレット端末、PCなどで情報を入力する手段が主流になっていくなかで、いかに情報を発信してい

本市の発展のために大変重要な施策であることから、さまざまな媒体、手法を複合的に活

相国を離れ、縁あって本市で生活している外国人の皆さん